

令和3年度 第2回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	梨雲苑デイサービスセンター			
開催日時	令和4年3月17日(木) 13時30分～14時30分			
開催場所	特別養護老人ホーム 梨雲苑 研修室(富山市吉作1725番地)			
参加者	地域住民代表者	3名	知見者、民生委員等	1名
	利用者(家族)代表者	1名	事業所職員	5名
	行政職員	0名	その他(地域包括)	1名
議題	1. 事業所の現状について			
	2. その他(1月の大雪について等)			
会 議 録				
<第1号議案> 事業所の現状				
・利用状況				
認知症対応型の利用者がやや減っている。今年度は入所や入院などの中止が多く利用人数が伸び悩んでいる。				
・コロナ対策について				
職員は、3回目のコロナワクチン接種が済んで、コロナ感染者は出ていない。				
利用者は、1月・2月に計2名の感染があったが、感染拡大はしていない。				
世間のコロナウイルスの感染拡大を受け、利用を自粛される利用者がいた。マスク着用を促しているが認知症の方には、困難な人もいる。感染予防を行いながら、行事を行っているが、保育所交流会はできていない。交流会の代わりに、各保育所(呉羽、東山、老田、寒江)の協力のもと、園児の作品展示を行い交流を図った。利用者の皆様は歩行練習中に楽しそうに見ていた。				
ご意見やご質問				
・コロナ対応で著しく変わったことは、なんですか。				
→デイサービス利用者・家庭で、それぞれの考え方がある。利用を自粛される方もいれば、今までと同様の利用を続けている人もいる。来苑前の検温・マスクの着用については、協力的である。				
→特養では入居者家族の面会は、今月控えている。家族が安心できるように、情報提供している。家族が差し入れの際に、手紙を書いて来られる方もいる。				
・看取りの入居者は何人程いますか。				
→今年度は46件看取っている。近年は、安心して最後を迎えることができている。				

・職員の入・退職者の状況についてはどうですか。
→給与だけではなく、向き不向きがあるのではないかと。休みが不規則なので続けにくいかもしれない。介護助手として、資格のない若い子の採用を試みている。
・介護4・5と介護度の高い人がデイサービスを利用しているが、どのように 対応しているのか。
→身体的に介護度が高い人もいるが、認知症のために介護度が高い人もいる。ソフト面、ハード面を活用し、一人一人に合ったサービス提供を心掛けている。
・コロナ禍で認知症の増加はあるのか
→家から出にくい状況で活動が減っていることで、認知症の症状が進む人もいる。
→統計はないが、どこにも行けなくなったという相談が包括に増えている。
・一人暮らしの方の孤独死が増えているが、デイサービスを利用している方でそのようなことがあるか。また、その時の対応はどうしているのか。
→デイサービスの迎えでということではなかったが、ヘルパー・ケアマネの訪問でということがあった。そのような時は、ケアマネジャーが、警察・家族の対応をしている。そのようなことが少なくなるように、包括・民生委員と協力していく必要がある。
・デイサービスで迎えに行った時、応答がない時はどうしているのか。
→そのままにしていることはなく、すぐに家族・ケアマネに連絡して安否確認している。
・連絡がとれなくなり、家族が訪問して死亡を発見することが昨年3件あった。コロナ禍で活動が減ったためそのようなことが増えているのではないかと。
→デイサービスを利用している方は、人の目が届くが、サービスを利用していない方の問題が大きい。声がけしにくくなっている。
・個人情報を守つということ、情報を得ることが困難なことがあった。登録制度ができ、わかりやすくなっているが民生委員だけでは、困難なこともある。
→地域と事業所で協力し合って、見守りができるようになればいい。
・町内で、高齢者の一人暮らしを把握する必要がある。何ができるか考えていきたいが難しい。また、子供達の獅子舞い練習ができなく困っている。
→伝統芸能は、間を空けると再開や維持が難しいと思う。吉作の獅子舞は利用者も楽しみにしているので、早くコロナが落ち着いて再び来苑していただけるのを心待ちにしています。
・合唱団ボランティアの、施設受け入れはどうですか。
→カラオケの貸出しは、予防対策をして自己責任ということで行っている。合唱は自己責任というわけにはいかないが、年度が変わってコロナが減ったら可能になると思います。

< 第2号議案 > その他

- ・大雪時の対応マニュアルについて

昨年の12月にマニュアルを作成したが、今年は交通障害が起きるような大雪もなく、活用することはなかった。

ご意見やご質問

- ・災害対策について

令和4年度は地区全体の防災組織を立ち上げたい。

町内での防災訓練を行いたい。

→苑としても連携を取っていきたい。協力できることがあればご相談ください。